

<申込方法> **各回ごとに 往復はがき** または **インターネットから**お申し込みください

**【往復はがき】** 1枚のはがきで1名のみ。ご希望の講座（第〇回）・名前・ふりがな・住所・電話番号を明記して、下記の宛先までお送りください。

**宛先：〒550-0014 大阪市西区北堀江 4-3-2  
大阪市立中央図書館「大阪連続講座 第〇回」係**

**【インターネット】** 図書館ホームページ  
[https://www.oml.city.osaka.lg.jp/?key=joftwa0ke-510#\\_510](https://www.oml.city.osaka.lg.jp/?key=joftwa0ke-510#_510)  
にアクセスの上、各回の申込フォームからお申し込みください。  
（各回の二次元コードはこのチラシの内側にあります）  
※迷惑メール対策で受信メールを制限している場合、図書館からのメール（ドメイン名 oml.city.osaka.jp）が受信できるよう設定をお願いします。  
設定方法の詳細は、お使いの携帯電話会社等へお問い合わせください。

**【申込締切】** **第1回 令和3(2021)年 11月24日(水曜日)当日必着**  
**第2回 令和4(2022)年 1月12日(水曜日)当日必着**  
**第3回 令和4(2022)年 1月19日(水曜日)当日必着**

★手話通訳ご希望の方は申込が必要です。  
各回とも申込締切日までにご希望の講座（第〇回）・お名前・ご連絡先を明記して、手話通訳希望とお申し込みください。FAX：06-6539-3335

※いただいた個人情報は緊急時および事業実施にかかわる連絡のみに使用し、事業終了後すべて破棄します

- 図書館では、新型コロナウイルス感染拡大防止対策をおこなって催しを実施します。
  - ・参加予定者数に合わせて2倍以上の定員の部屋を用意します。
  - ・座席は、間隔をあけて配置します。
  - ・適宜、換気をおこないます。
  - ・開催前後に、使用した部屋のドアノブや机などの清拭をおこないます。
  - ・職員はマスクを着用します。また、フェイスガードを使用させていただく場合があります。
- 参加者の皆様は、以下のご協力をお願いします。
  - ・発熱がある、咳が出る、風邪症状があるなど体調不良の場合は来館をお控えください。
  - ・ワクチン接種の有無にかかわらず、マスクの着用をお願いします（2歳未満のお子様は不要です）。
  - ・入場前に、手洗ひまたは、カウンター前の手指用消毒液による消毒をお願いします。
  - ・体調の確認のため、開始前に会場での体温測定（非接触式電子温度計を使用）へのご協力をお願いします。
  - ・大声での発声や会話はお控えください。
- 参加者の新型コロナウイルス感染が判明した場合は、個人情報を大阪府や保健所などに提出することがあります。

令和3年度大阪連続講座

# おおさかの芸術

—浮世絵、寄席文字、そして大阪中之島美術館開館へ—

大阪中之島美術館開館を令和4(2022)年2月に控えたこの機会に、芸術に想いをはせてみませんか。  
今年のおおさかの芸術は、「おおさかの芸術—浮世絵、寄席文字、そして大阪中之島美術館開館へ—」と題し、大阪中之島美術館の見どころ、江戸時代の大坂近郊の風景を描いた『浪花百景』や伝統の縁起文字『寄席文字』の魅力など、時代を超えていくおおさかの芸術を、3回の講座でさまざまな視点から語っていただきます。

**新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、中止または延期する場合があります。**

第1回 令和3(2021)年12月11日(土)

## 大阪中之島美術館の果たす新しい役割

講師：菅谷 富夫 氏（大阪中之島美術館長）

第2回 令和4(2022)年1月29日(土)

## おおさかを描く、おおさかで描く～上方浮世絵の魅力～

講師：菅原 真弓 氏（大阪市立大学文学部教授）

第3回 令和4(2022)年2月5日(土)

## 寄席文字を関西に伝えて五十年

講師：橘 右一郎 氏（橘流寄席文字 橘会理事）

第1回・第2回は、後日YouTube  
大阪市教育委員会チャンネルで動画  
の配信を予定しています(期間限定)

各回ごとに 往復はがき または インターネット からお申し込みください

●時間：午後2時から3時30分

（開場 午後1時15分）

●定員：80名（入場無料）

（事前申込・応募多数の場合は抽選）

●会場：大阪市立中央図書館5階大会議室

▼主催・お問い合わせ▼

大阪市立中央図書館 利用サービス担当  
〒550-0014 大阪市西区北堀江 4-3-2  
電話：06-6539-3302  
<https://www.oml.city.osaka.lg.jp>



Osaka Metro 千日前線・長堀鶴見緑地線  
西長堀駅7番出口すぐ



当館 HP お知らせページ

大阪検定協力事業

## 第1回

令和3(2021)年12月11日(土)

### 大阪中之島美術館の果たす新しい役割

菅谷 富夫 (すがや とみお) 氏  
(大阪中之島美術館長)

申込締切: 令和3年11月24日(水)  
※当日必着

2022年2月に大阪中之島美術館は開館します。長い準備期間を経ての開館ですが、その間に収集したコレクションは国内トップレベルのものと高い評価を得ています。そのコレクション作品を紹介するとともに、新しい機能・施設も併せて紹介しながら大阪という地域で新しい美術館の果たす役割についてお話しします。

昭和33年4月 千葉県生まれ  
昭和60年3月 明治大学大学院文学研究科前期博士課程修了。文学修士  
平成2年4月 財団法人滋賀県陶芸の森学芸員  
平成4年4月 大阪市教育委員会事務局大阪市立近代美術館建設準備室学芸員  
平成25年4月 大阪市経済戦略局大阪新美術館建設準備室 研究主幹  
平成28年4月 大阪新美術館建設準備室室長  
平成31年4月 大阪中之島美術館建設準備室室長  
平成31年12月 大阪中之島美術館館長

現在に至る



当館 HP 第1回講座お知らせページ

## 第3回

令和4年(2022)年2月5日(土)

### 寄席文字を関西に伝えて五十年

橋 右一郎 (たちばな ういちろう) 氏  
(橋流寄席文字 橋会理事)

申込締切: 令和4年1月19日(水)  
※当日必着

橋流寄席文字とはどういったものか、そして伝統的な興行界で使用されている書体、例えば歌舞伎の勘亭流や大相撲の相撲文字他、どのようなものがあるかについて語ります。寄席文字の道具の紹介や実演も行います。

橋流寄席文字家元橋右近に昭和43年10月より師事。昭和45年2月3日、3番目の弟子となり「橋右一郎」を拝命。昭和45年10月に故郷大阪へ帰り、当時「上方」では定まった様式の寄席文字がなかったため橋流寄席文字を広めるために活動を始め、現在に至る。『日本の古典芸能 9 寄席: 話芸の集成』芸能史研究会/編 (1978年、平凡社) 研究の手引き「寄せ文字について」年表を発表。



当館 HP 第3回講座お知らせページ

## 第2回

令和4(2022)年1月29日(土)

### おおさかを描く、おおさかで描く ～上方浮世絵の魅力～

菅原 真弓 (すがわら まゆみ) 氏  
(大阪市立大学文学部教授)

申込締切: 令和4年1月12日(水)  
※当日必着

「浮世絵」というと江戸のもの、というイメージが強いかもしれませんが、江戸時代の大坂でも浮世絵版画は制作されていました。「上方浮世絵」といいます。この講演では、幕末以降に刊行されていく名所絵、特に大坂を描いた作品「浪花百景」を中心に、上方浮世絵の魅力を探っていきたいと思います。

1999年、学習院大学大学院人文科学研究科哲学専攻博士後期課程単位修得退学  
2008年、学位論文「十九世紀日本版画における風景主題と歴史主題」で博士(哲学)を取得  
その後中山道広重美術館(岐阜県恵那市)学芸員、京都造形芸術大学、和歌山大学准教授を経て2017年より現職。専門は日本近世近代絵画史、版画史  
2019年著書『月岡芳年伝 幕末明治のはざまに』(2018年、中央公論美術出版)の成果により芸術選奨文部科学大臣新人賞(評論等部門)受賞  
著書は他に『浮世絵版畫の十九世紀 風景の時間、歴史の空間』(2009、ブリュッケ)、『謎解き浮世絵叢書 月岡芳年「和漢百物語」』(2010年、二玄社)などがある



当館 HP 第2回講座お知らせページ

## 関連 Web ギャラリー「おおさかの絵画」

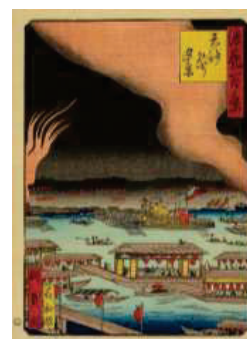
大坂の町人文化を背景として、「大阪画壇」とも称される近世後期以降の大阪の絵画は独自の発展を遂げました。江戸時代中後期の絵本(絵入りの和本)や幕末・明治初期の錦絵など、大阪にゆかりの画家たちの作品を大阪市立図書館デジタルアーカイブで紹介しています。



「砂川奇勝」北野恒富



「小倉百首類題」暁鐘成



「天神祭り夕景(浪花百景)」歌川國貞

## 大阪市立図書館デジタルアーカイブ

大阪市立中央図書館が所蔵している古文書や写真、絵はがき、地図などの貴重資料の画像閲覧サービス。一部の画像はオープンデータとして提供しており、自由にご利用いただけます。